

【研究トレンド紹介】Liquid Biopsyセミナー  
 バイオラッドが提供するLiquid Biopsy解析ツールと  
 そのアプリケーションについて



Liquid Biopsyは、血液などの体液から腫瘍由来成分を解析する手法として以前から知られてきましたが、近年の解析精度向上や応用領域の拡大により、研究・臨床の双方で改めて注目を集めています。

本セミナーでは、バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社より講師をお招きし、Liquid Biopsyを取り巻く最新の研究環境やその重要性を整理いただくとともに、同社が提供する多彩な解析ソリューションを実際の論文事例とともにご紹介いただきます。内容は、デジタルPCRによる高感度な遺伝子解析、フローサイトメトリーによる細胞解析、マルチプレックスアッセイを用いた多項目評価、シングルセル解析、さらにワークフローを最適化する核酸抽出技術まで多岐にわたります。

現在の研究トレンドを俯瞰し、具体的な解析のヒントを得られる機会として、皆様の情報収集にぜひお役立てください。

日時：2026年3月18日(水) 15:30-17:00

開催形態：オンライン (Zoom)

講師：廣中 克典  
 (バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社)

言語：日本語

申込方法：以下のURLからお申込みください。  
<https://forms.gle/uddDaZothRLwhoan6>



申込

締切：2026年3月17日(火) 13:00

※締め切り後、Zoom開催情報及びアンケートフォームへのリンクを申込者全員にメールでお知らせします。

セミナーの中でご紹介いただく機器

- ◆ZE5 Cell Analyzer
- ◆GENESISシステム

- ◆Bio-Plexマルチプレックスアッセイ試薬
- ◆QX200/600 Droplet Digital PCR (ddPCR)



京都大学医学研究支援センターはAMED事業「生命科学・創薬研究支援基盤事業 (BINDS)」の支援のもとに活動を行っています。

===== セミナーに関する連絡先 =====

京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター 遺伝情報解析室 (担当：出縄)  
 メール: infoseq\_mrsc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp  
 URL: <https://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter/dna>

# 研究トレンド関連 Web セミナー

## 『Liquid Biopsyセミナー』

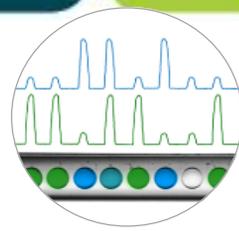
---バイオラッドが提供するLiquid Biopsy解析ツールとそのアプリケーションについて

実施日時：2026年3月18日(水)

実施時間：15:30 ~ 17:00

(発表1時間弱, Q&A 30分程度を予定)

実施方式：オンラインZoom / 発表者：Bio-Rad 廣中克典



「分子細胞生物学」の本格的発展により、様々な生命現象や疾患、病態メカニズムが分子レベルで詳細に理解されるに至り、これらの分子レベルでの膨大な知見に基づいて疾患や病態の発生機序に関与する分子を直接ターゲットとした分子標的薬の構想・開発が進み、従来の低分子化合物を中心とする「結果的な効能のみに基づいた創薬」から、より「分子的な作用機序に基づいた創薬」への転換が進んできました。

また、次世代シーケンサーの急速な発展に伴い、がんゲノム医療に代表される患者のゲノム情報や体質、病状に合わせ、分子標的薬活用なども含め、POCに基づいた治療を目指す医療の流れが加速しつつあります。

そのような流れの中、患者さんのゲノム情報や体質、病状（現状）などを把握する上では、特にがん領域に於いては、従来より引き続き生検サンプルが重要な役割を果たしていますが、分子標的薬の治療効果モニタリングなど、患者様の負担を減らすなどの観点からLiquid Biopsyサンプルの活用も進められつつあります。

また、Liquid Biopsyサンプルは、「分子的な作用機序に基づいた創薬や治療法開発」の流れの中で、低分子化合物やペプチドを含む中分子医薬、抗体医薬に加え、昨今では更に核酸医薬、遺伝子・細胞治療、再生医療、免疫細胞医薬、マイクロバイオーム医療など、これまでとは異なる観点から、創薬・治療法開発の現場での多種多様な新規モダリティ開発においても注目を浴びるとともに、その活用が始まっています。

今回のセミナーでは、このような**Liquid Biopsyを取り巻く環境やその重要性・可能性について概説**しつつ、弊社**Liquid Biopsy解析ツールおよび試薬**について、様々な**アプリケーション、ブレイクスルー**やその可能性について、興味深い**実際の論文を交えつつ、具体的にご紹介**させていただきます。

### 弊社紹介予定製品

- ◆ ZE5 Cell Analyzer
- ◆ GENESISシステム
- ◆ Bio-Plexマルチプレックスアッセイ試薬
- ◆ QX200/600 Droplet Digital PCR (ddPCR)
- ◆ 最新技術製品

### お問い合わせ先

京都大学大学院医学研究科  
医学研究支援センター 遺伝情報解析室  
(担当：出縄様)

E-mail: [infoseq\\_mrsc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:infoseq_mrsc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

URL: <https://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter/dna>



**BIO-RAD**